

／ みんなで解こう ／

医療と健康保険の問題



大阪府建築健康保険組合



健康保険組合連合会

けんぽれん

2025年は、戦後のベビーブーム期に生まれた
“団塊の世代”と呼ばれる人たちがみな後期高齢者になる年。
さらに2040年にかけて高齢者人口がピークに向かい、
少子化により現役世代は減少していく中で、
医療費と現役世代の負担はより増大すると予想されています。
この国の医療、そしてみなさんの健康を支える健康保険制度は、
とても厳しい状況を迎えているのです。

これから出題する6つの問いは、
今、危機的な課題に直面している医療・健康保険制度に関するものです。
ご自身も加入している健康保険について、
あなたはどれくらいわかっているでしょうか？

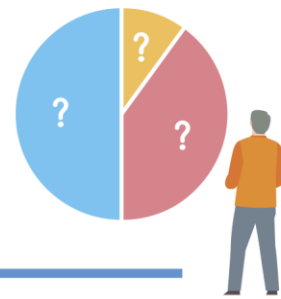
これを機会に、ぜひたくさんの方の事情を知ってください。
そして、医療と健康保険の将来のために
一人ひとりができることを実践していきませんか。

まずは知ることから。あなたの一歩が未来の健康をつくれます。

**知ろう、医療費の危機的状況。
知ろう、自分の健康の守り方。
知ろう、正しいセルフメディケーション。**



第1問



次の問題文を読み、続く設問に答えなさい。

日本全体の医療費のうち、約 **a** 割が75歳以上の高齢者の医療費です。自己負担を除いた高齢者の医療費の内訳は、約1割が **b**、約4割が **c**、約5割が **d** です。現在の日本の医療費は毎年 **e** 円規模で増加しており、それを支える健康保険制度の崩壊が心配されています。その理由のひとつがこの高齢者医療費の増加です。

[1] 空欄 **a** と **e** に入る数字として適切なものを選びなさい。

a… ①3 ②4 ③6 ④8

e… ①10億 ②100億 ③1,000億 ④1兆

[2] 空欄 **b** **c** **d** には、「税金」「現役世代の負担」「高齢者の保険料」のいずれかが入る。適切なものを入れなさい。

[3] 下線部について、続く設問に答えなさい。

(i) 医療費が増えている理由として適切なものをすべて選びなさい。

①高齢者数の増加 ②医療の高度化 ③人口減少

(ii) 制度の崩壊が心配される理由のひとつに、○○○○の急激な減少が挙げられる。

○○○○に入るのとは何か。

解答と解説

[1]

a ②4

e ④1兆

2022年度の医療費総額は約47兆円、そのうち4割の約18兆円が75歳以上の高齢者の医療費です。

[2]

b 高齢者の保険料

c 現役世代の負担

d 税金

高齢者医療は、税金と現役世代によって支えられています。

[3]

(i)

① ②

高齢者は若い人より受診する回数が多いため、一人当たりの医療費が年間約97万円と、74歳以下の25万円と比べて約4倍です。そのため、高齢者の増加は医療費の増加につながります。超高額な医薬品の登場や医療技術の進歩も医療費上昇の原因となります。

(ii)

現役世代

高齢化と同時に少子化が進み、現役世代が急激に減少します。増加していく高齢者医療費に対して、それを支える現役世代一人当たりの負担がどんどん増えてしまうのです。

知ろう、医療費の危機的状況。

第2問

日本は、誰でもいつでも医療が受けられるように医療保険制度が整えられています。被保険者等が出し合った保険料から医療費を支払うことで、患者は窓口で医療費の一部を負担するだけで受診することができます。これについて、続く設問に答えなさい。

【1】医療費の自己負担割合は、年齢によって異なる。正しい組み合わせを選びなさい。

- ① 0-6歳…無料 70-74歳…2割 75歳以上…1割 それ以外…3割
- ② 0-6歳…2割 70-74歳…2割 75歳以上…1割 それ以外…3割
- ③ 0-6歳…無料 70-74歳…3割 75歳以上…2割 それ以外…4割
- ④ 0-6歳…2割 70-74歳…3割 75歳以上…2割 それ以外…4割

【2】日本では、子どもの医療費が無料になることがある。この「無料」はどのように実現されているか、正しい答えを1つ選びなさい。

- ① 国が全額負担している
- ② 病院が費用を請求しない仕組みになっている
- ③ 自治体が自己負担分を肩代わりしている
- ④ 子どもが成人してから請求されることになっている

解答と解説



【1】

②

0-6歳…2割

70-74歳…2割

75歳以上…1割

それ以外…3割

自己負担の割合は正解の通り、年齢によって違います(一定以上の所得がある高齢者は2~3割負担)。これまでの年齢による負担という考え方から、負担能力のある方は負担すべきという考えに基づき、高齢者の自己負担については一部見直しも行われてきました。

【2】

③

子どもの医療費は「無料」ではなく、実際には費用が発生しています。自己負担分を自治体が肩代わりし、残りは健保組合から保険料により支払われています。無料だからと余分に薬をもらったり、不安だからと多めに検査を受けたりするのは控えましょう。

知ろう、医療費の危機的状況。

第3問

次の問題文を読み、続く設問に答えなさい。

健康保険組合（通称・健保組合）の事業は、大きく2つに分けられます。[a]は、被保険者とその家族の皆さんが病気やケガをしたときの医療費の支払いや、出産・死亡・休職などのときに給付金を支給する仕事です。[b]では、加入者の健康の保持・増進を図るため、[c]と連携し、健診など加入者の実態に合わせた事業運営を行います。また、[d]に対して、医療保険制度の見直しや医療のあり方等についても被保険者を代表して意見します。
しかし、これらの事業は保険料収入のうち6割に満たない範囲で行っているのが現状です。

[1] 文中の空欄に入る言葉の組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

- | | | | |
|----------|--------|---------|---------|
| ① a 保健事業 | b 保険給付 | c 国や自治体 | d 企業 |
| ② a 保険給付 | b 保健事業 | c 国や自治体 | d 企業 |
| ③ a 保険給付 | b 保健事業 | c 企業 | d 国や自治体 |
| ④ a 保健事業 | b 保険給付 | c 企業 | d 国や自治体 |

[2] 下線部の状況について、二大事業以外に4割を超える大きな支出がある（2023年度）。その内容を答えなさい。

解答と解説

[1]

③

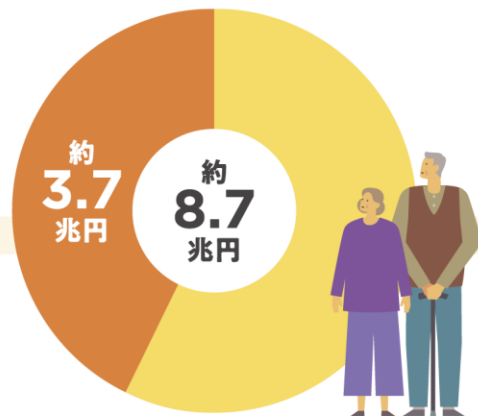
- | | |
|--------|---------|
| a 保険給付 | b 保健事業 |
| c 企業 | d 国や自治体 |

健保組合は被保険者とその家族の生活を、いざというときの経済的支援である「保険」と、健康面の支援である「保健」の2方向から支えています。

[2]

高齢者医療

2023年度は、健保組合全体の保険料収入約8.7兆円に対して、約3.7兆円が高齢者医療費の支援に使われる拠出金でした。実に保険料の4割が高齢者に充てられています。高齢者、現役世代それぞれの負担のあり方を見直すよう、高齢者医療制度の改革を進めると同時に、私たち一人ひとりが医療費を抑える工夫をすることが、健保組合の安定的な運営につながります。



知ろう、医療費の危機的状況。

第4問

次の問題文を読み、続く設問に答えなさい。

健診を受けると、病気の兆候、将来の疾患リスクなど、さまざまなことがわかります。とくに、病予備群といわれるメタボリックシンドロームに着目した健診もあります。日本人の死因の半数近くを占めるがん、心疾患、脳血管疾患は、食事や運動、喫煙、飲酒といったと深い関わりがあるため、健診はその予防にも活用できます。

[1] 問題文のに入る言葉を答えなさい。

[2] 職場の健診について述べた文として、正しい記述を1つ選びなさい。

- ① 健康に自信があるので、健診を受ける必要はない
- ② 健診の結果次第では、医師や保健師といった専門家のサポートが受けられる
- ③ 定期的に通院しているので、健診を受ける必要がない
- ④ 仕事が忙しい場合、健診を受けなくてもよい



解答と解説

[1]

生活習慣

生活習慣病は、継続的な治療が必要となるケースが多くなります。

[2]

②

健診の結果によっては医師・保健師等専門スタッフのサポート（特定保健指導）を受けられます。自分は健康だと思っても自覚症状がないだけ、というケースもあります。長く元気に過ごすためにも、積極的に健診を受けて、生活習慣を見直すきっかけにしましょう。

知ろう、自分の健康の守り方。

第5問

医療費を軽減するために推奨されているのが、セルフメディケーションという取り組みです。具体的には、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることを指します。これについて、続く設問に答えなさい。

[1] セルフメディケーションの実践として、ふさわしいものをすべて選びなさい。

- ① 適度な運動
- ② 家で血圧の計測記録をつける
- ③ かかりつけ医から服薬のアドバイスを受ける
- ④ 十分な睡眠をとる

[2] セルフメディケーションの例として、軽度な体調不良は市販薬により自分で手当てをすることも挙げられる。このことに関して、誤った記述を1つ選びなさい。

- ① 市販薬を使うメリットのひとつに、税の所得控除がある
- ② 自己判断で市販薬を購入する場合でも、薬剤師等の専門家のアドバイスを受けることができる
- ③ 医療用医薬品は医師の処方が必要なので、市販薬に同じ成分のものはない
- ④ 市販薬でも、組み合わせには気を付ける必要がある



解答と解説

[1]

① ② ③ ④

セルフメディケーションの実践例としては、普段から適度な運動と栄養バランスのよい食事や十分な睡眠時間を確保し、健康状態を自分で管理し、軽い体調不良やけがの時は、薬局等で販売されている医薬品を上手に利用して手当てすることが考えられます。

[2]

③

市販薬の中には、医療用医薬品と同じ成分で作られているものがあります。このような市販薬は「スイッチOTC医薬品」といわれ、その購入費用については税の所得控除を受けられます。ただし、薬の重複による副作用や悪影響の可能性はありますので、わからないことや心配なことは、お薬手帳を活用して、かかりつけの医師・薬剤師に相談しましょう。

知ろう、正しいセルフメディケーション。

第6問

2024年12月2日から従来の健康保険証の新規発行・更新は行われなくなり、マイナンバーカードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」に移行されました。これについて、続く設問に答えなさい。

【1】マイナ保険証の説明として、正しいものをすべて選びなさい。

- ① 自分の医療情報を医師らと共有でき、質の良い医療を受けられるほか、初診でも過去の医療情報に基づき、より適切な治療を受けられる
- ② 医療機関の窓口での支払いが高額になった際に、窓口負担額を抑えるために必要な健保組合への手続きが不要になる
- ③ マイナ保険証（マイナンバーカードのICチップ部分）には医療情報が記録されていない



解答と解説

【1】

① ② ③

マイナ保険証を利用すれば、どの医療機関で受診しても過去の診療・薬剤情報や特定健診情報などを医師らが確認でき、より質の高い医療を受けられます。これらの情報の確認は本人の同意が必要のため、勝手に利用されることはありません。

また、手続きなしで高額な窓口負担が即時に一定額まで減額されます。マイナ保険証を利用しない場合、事前に健保組合から「限度額適用認定証」を交付してもらうなど、手続きが必要になることがあります。

知ろう、自分の健康の守り方。